

南アジア地域における地震防災対策

～耐震化を中心として、安全安心なコミュニティ地域の創出～

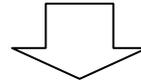
現状

南アジア地域に地震が大きな被害が発生(2004インド洋津波、2005パキスタン地震)
南アジア地域では建築物の耐震措置が不十分→被害甚大、救援活動にも支障

第1段階

【各国の地震災害に対するリスクと脆弱性の評価】

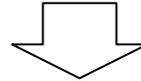
・対象地域の地震危険度マップの作成。危険地域での土地利用計画や地震対策の再検討。



第2段階

【地域の耐震強化能力の向上】

・低コスト、地域で入手可能な資材を用いて、地域の大工等が対応可能な耐震建設ガイドラインの作成
・耐震診断ガイドライン・手法の開発
・ガイドライン等を活用して、地域の建築家、大工・職人等を対象とした耐震建築・耐震補強の訓練



第3段階

【耐震建築のモデル事業の実施と普及】

・耐震建築ガイドラインに沿って、実践的なデモンストレーションとしてモデル事業を実施
(モデル事業)公共建築物の耐震補強／耐震建築、震度計の設置
・地震防災の普及啓発・教育の実施

成果

地震災害発生時における被害軽減、復興のための拠点の確保、迅速な復興活動の展開を可能とする安全安心なコミュニティ地域の創出